



ひしのみ

～たくましく かしこく とともに生きる子～

神崎市立千代田中部小学校
(文責) 校長 田中 達



弥生3月。春告鳥の
声が響きはじめるころ
となりました。
学年末を迎え、各学
年とも1年間のまとめ
や次年度に向けた準備を
しています。

3月の生活のめあては「お世話になった人や物に感謝しよう」です。この1年間、多くの人や物に助けられてきたことを思い起こし、「ありがとう」の気持ちを伝える最終月にしたいと思います。



また、6年生の登校日が残り12日となりました。千代田中部小学校の6年生として、最後まで下級生を手本を見せて卒業証書を受けたいと思います。

2日(土)の土曜開校日に、「6年生を送る会」を行いました。1年生から5年生の子供たちは、アイデアあふれる寸劇や歌、合奏を披露して、6年生にお世話になったことへの感謝の気持ちを伝えました。

「朝の読み語り活動」お世話になりました



毎週金曜日の朝の時間帯に、1年生から4年生までに読み語りをしていただきましたが、2月末で今年度の読み語り活動が終了しました。

毎回、工夫を凝らして絵本を選んでいただきましたので、子供たちは「今日はどんなお話かな?」と、読み聞かせの時間を楽しんでいます。



毎週金曜日の朝は読み聞かせの静かな時間からスタートすることができました。今年度一年間、お世話になりました。



6年生を送る会



2日(土)の土曜開校日に、「6年生を送る会」を行いました。6年生が1年生と手をつないで入場し、その後は、各学年から劇や歌が披露されました。「6年はヒーローです」「6年生のいいところは〇〇」など、全校をリードしてきた6年生の姿が紹介されたり、感謝の気持ちを伝える歌と言葉を6年生に届けたりしました。

一方、6年生は1年生からの思いでのシーンを寸劇にした出し物を披露しました。また、これまでお世話になった地域の人に、プランターの花をプレゼントして感謝の気持ちを伝えました。

各学年の出し物はアイデアが生かされていて、おもしろく、そして心に染み入るものばかりでした。

当日は、早朝から保護者や来賓の皆様にご参観いただきました。早春の寒さがまだ感じられる時間帯でしたが、体育館内が温かい雰囲気にも包まれる送る会となりました。

